

セラチアから15年

地域とともに取り組む 安全文化

第15回 医療介護安全大会

7月18日(土)に堺市立西文化会館ウエスティにて「第15回 医療介護安全大会」が開催され、432人の役職員ならびに友の会の皆さんの参加を得ました。

今回は講演に堺市保健所感染症対策課長の藤井史敏先生を招いて、「戸くへ新しい病気、結核」についてお話ししていただきました。重要なことは、患者の早期発見・職員の健康管理・拡大の防止であることが強調されました。

指定報告では、リハビリ科より転倒防止ラウンドについて、介護保険事業部からヘルパー事業所全体で取り組む質向上について、感染対策チームから結核予防のための職員の役割について報告されました。

また事前に募集した医療介護安

全に関する川柳は74句が寄せられ、いずれも秀作ばかりでしたが、その中から2句が優秀賞として表彰されました。よせられた川柳は、日頃の感染予防や医療介護安全への意識向上を謳

う作品が多く、継続して感染予防や安全に努めようの意気込みが感じられました。(本紙面で数点ご紹介いたします)

参加者の感想より

引き続きいくことが大切であると感じました。(職員)
 ・結核について今まで十分な知識はありませんでしたが、感染・検査・治療にいたるまでわかりやすく説明いただき理解することができました。(友の会)



講師の藤井史敏先生

●医療介護安全川柳

一部ご紹介します

優秀賞
 あごマスク
 何からナニを
 守るため？

優秀賞
 それ違う
 声掛けひとつで
 ミス防ぐ

思い込み
 なくすためにも
 君の名は

危険予知
 窮状(9条)救う
 わたしたち

人と人
 つなぐ行為が
 事故防ぐ

危険予知
 できないひとは
 危険無知

ばいきんと
 せいきんだけは
 無くしたい



こんにちは！ 同仁会 事業所だより

安全・満足の治療を しっかりバックアップ

耳原総合病院 放射線科



アートで彩られた検査室

〒590-8505
 堺市堺区協和町4-465
 TEL 072-241-0501
<http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

現在、耳原総合病院には19人の放射線技師(うち女性2人)が在籍。24時間365日対応し、患者さまの被ばく低減や医療内容充実、安全・安心・信頼の医療に向け努力しています。新病院オープンを機に放射線機器がバージョンアップしました。(一部を紹介させていただきます)

①CT: 64列CTに加え、最新鋭320列CTの導入で、冠動脈CT及び他の疾患に対応する機能を備え、なおかつ撮影時間短縮と被ばく線量が低減。
 ②MRI装置: 最新式を導入し画質向上と
 ③一般のエックス線撮影機器: 一部を除いて一新。画像が瞬時に確認、またデジタル化で、診察場にも短時間で画像が送信され医師の診断がスムーズに。
 ④血管造影装置: 血管造影装置2台のうち1台は2方向撮影できる装置にバージョンアップ。急性心筋梗塞の救急対応と治療に威力を発揮。

また、機器の一新だけでなく、検査が「怖い・不安」という患者さんに少しでもリラックスして放射線検査を受けていただけるよう「ホスピタルアート」の一環で撮影室の壁に花々を描きました。患者さんからは「検査スペースが明るくなったね」と好評です。



血管造影検査室